

4-1 このご時世を生き抜くための発想

- ・コンフィデンスクライシスからの脱出
- ＝「勝ち組」になれ
- ・今も黄金の国ジパング？
- ・うまくいってる奴をマネる
- ・チーズはどこへ消えた？

4-2 アメリカのビジネス発想

アメリカCS・ES最前線

シアトル→イチローと佐々木を超えて

- マイクロソフト
 - ・ES・スピード経営・メトリックス
- ノードストローム
 - ・CS・サービスが伝説になる日
- スターバックス
 - ・小さな店から世界に展開

4-3 マイクロソフトはなぜ成功したか

- 1. 企業文化(トップの心情が伝わる)
- 2. メトリックス(業績は全て数字で表す)
- 3. 四半期ごとのミーティング
- 4. 採用時の関門
- 5. 社員成績表(自分で自分に点数つける)

5-1 社会のニーズにこたえる中小企業の事例

1. 高齢者生活支援ビジネス

介護保険の導入により、介護座-ビスへの民間参入が促進され、多くの企業が介護市場に参入している。人口構造の高齢化により、高齢者生活を支援する多種多様なニーズに注目が集まっている。

これら高齢者生活支援ビジネスは、中小企業に適している。

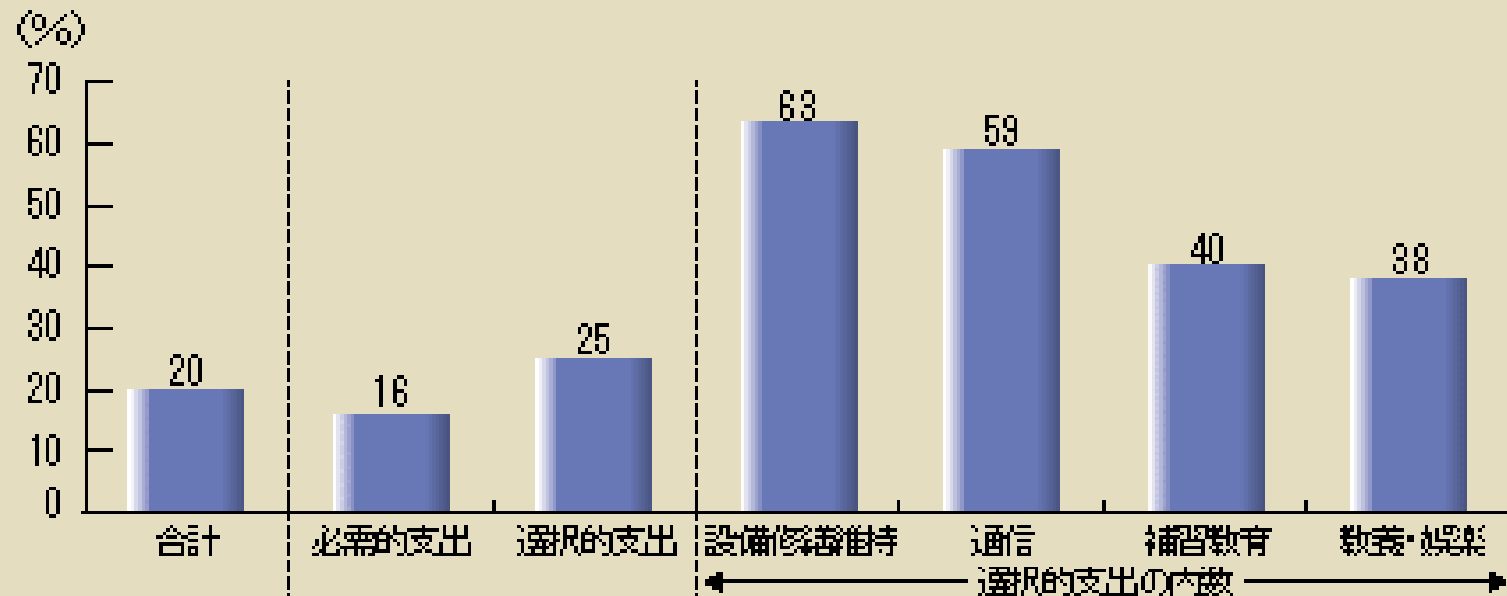
2. 環境ビジネス

経済産業省の調査によれば、市場及び雇用規模について、平成10年では約21兆円、約88万人であるが、平成22年には約38兆円、約136万人の規模になると予測しており、特にリサイクルと廃棄物処理の市場規模が大きくなる。

・「循環型社会形成推進基本法」平成12年6月

5-2 消費構造の変化

選択的消費支出が消費全体を上回り増加

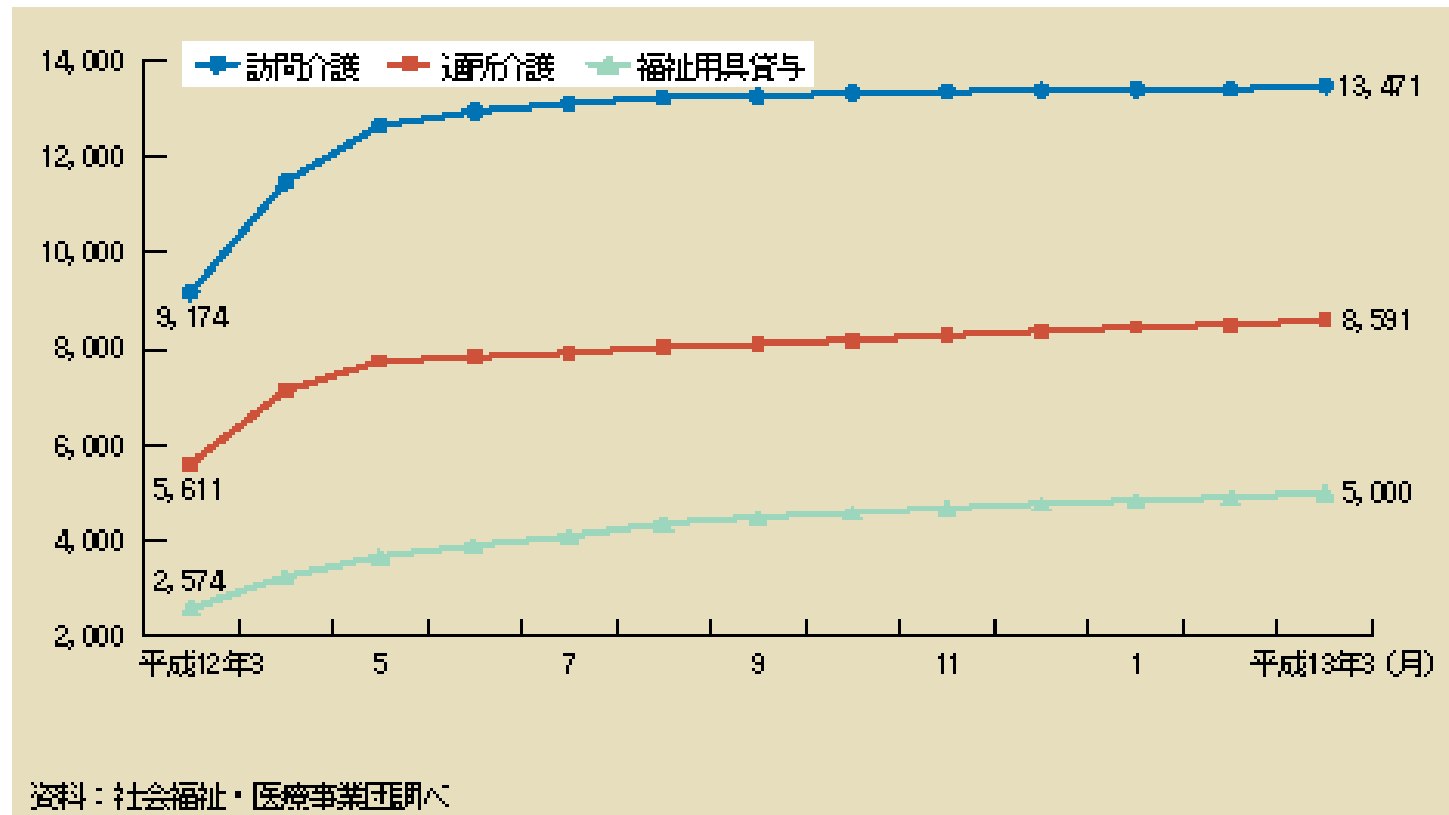


資料：総務省統計局「家計調査年報」

- (主)
1. 昭和60年から平成11年の間の1世帯当たり支出項目の伸び率。
 2. 全国・全世帯、年平均の値を用いて計算している。
 3. 必需的支出とは、食料（一般外食を除く）、家賃地代、光熱・水道、保健医療、交通、教育（補習教育を除く）の合計。
 4. 選択的支出とは、一般外食、設備修繕・維持（台所、浴槽等の修理や庭の手入れ等）、家具・家事用品、被服及び履物、交通・通信（除く交通）、補習教育（学習塾の月謝等）、教養・娯楽の合計。

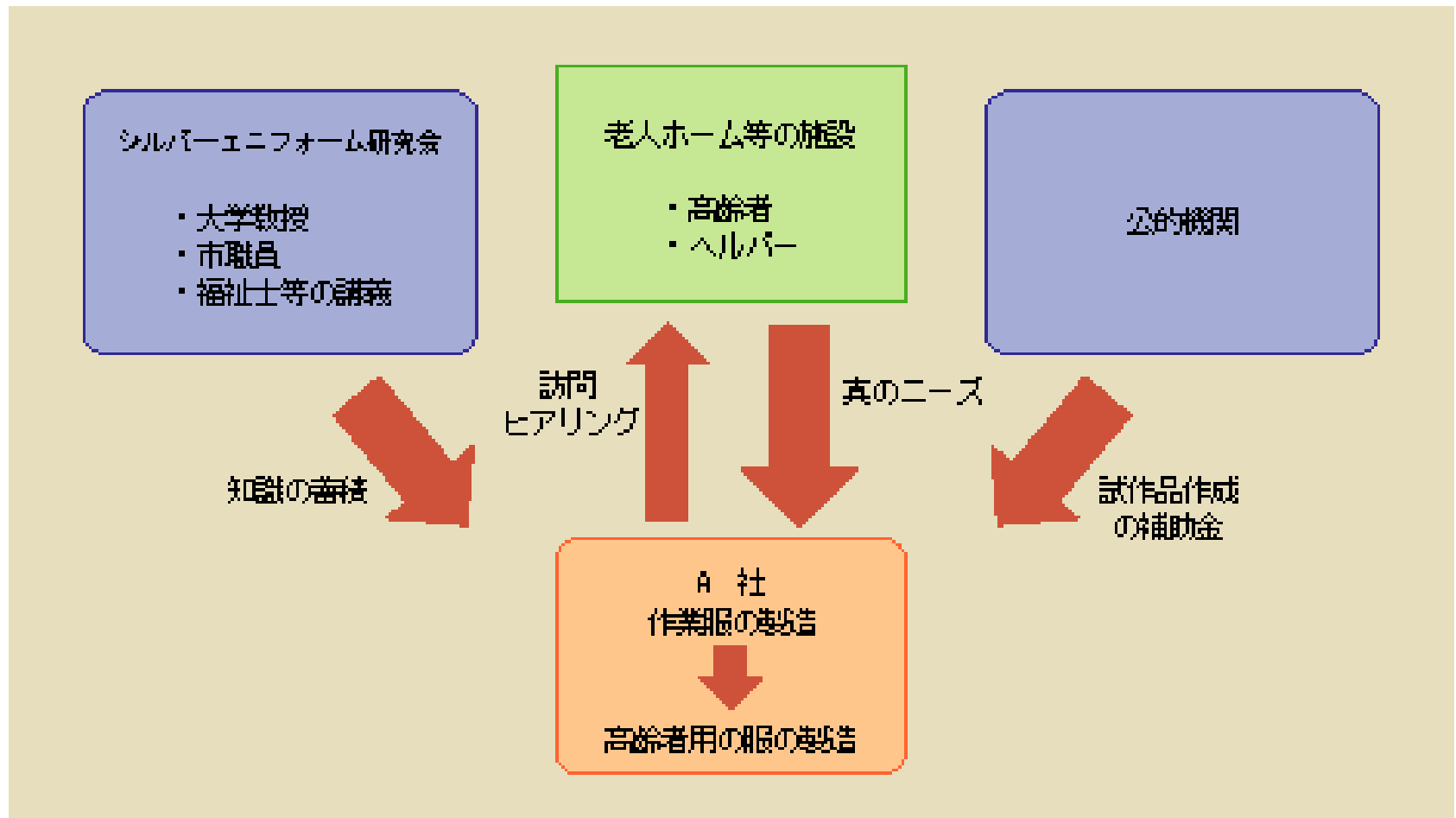
5-3 高齢者生活支援ビジネス(その1)

介護サービス事業者数の推移



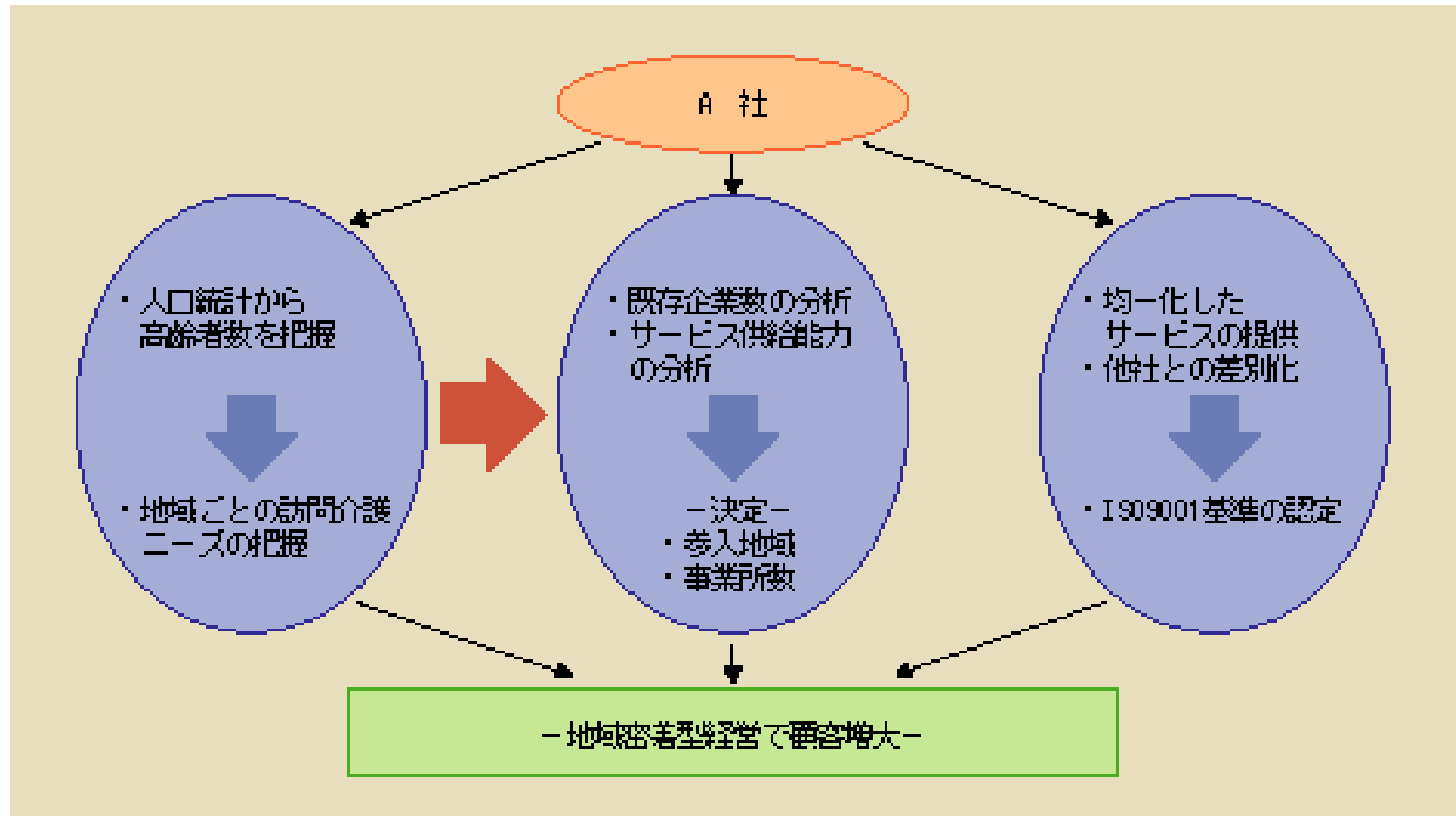
5-4 高齢者生活支援ビジネス(その2)

高齢者が好んでいる服の開発に長期的な取組で成功した企業



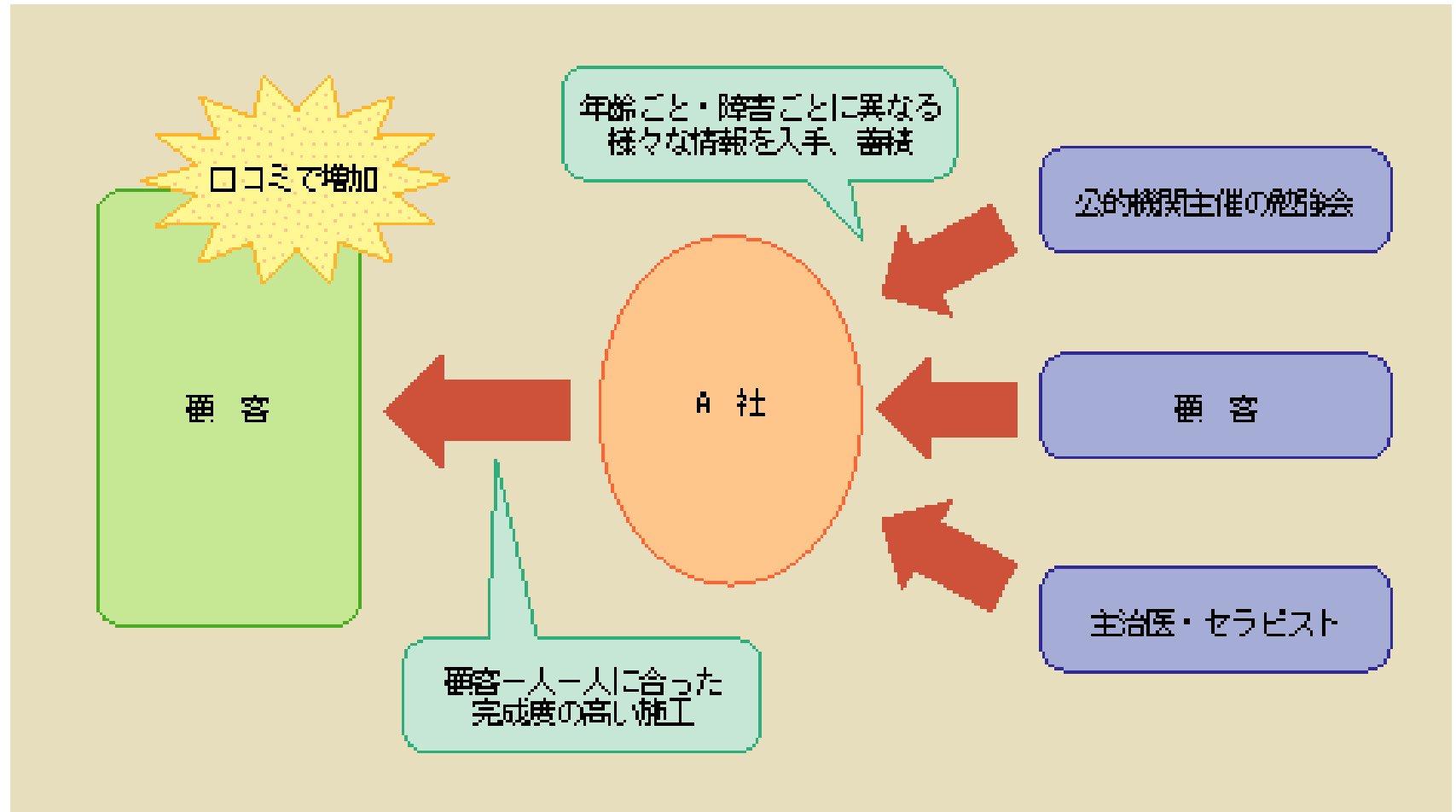
5-5 高齢者生活支援ビジネス(その3)

市場調査を行い、参入地域を絞り込むことで経営が安定した企業



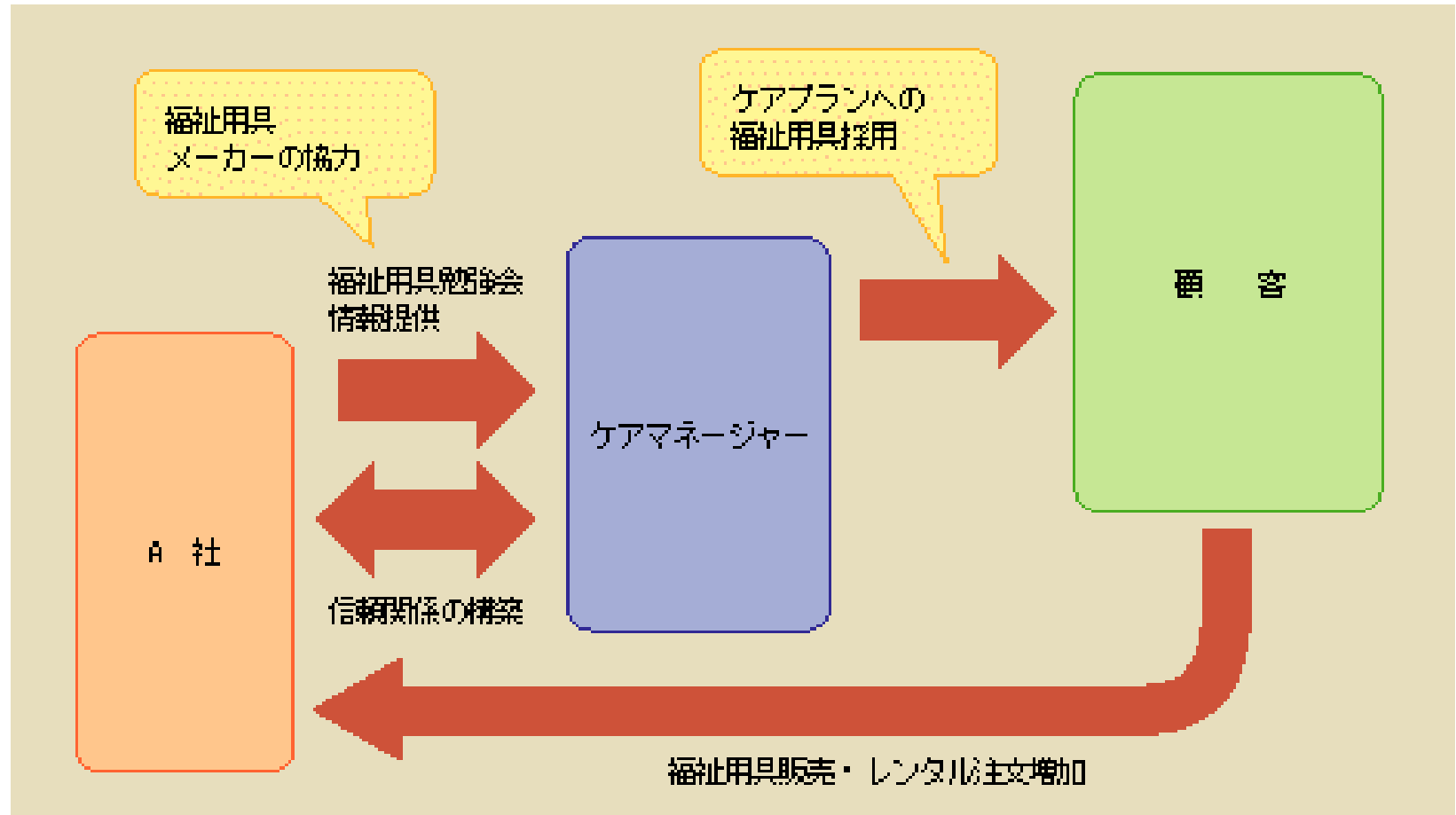
5-6 高齢者生活支援ビジネス(その4)

顧客に応じた完成度の高い住宅改修を行う企業



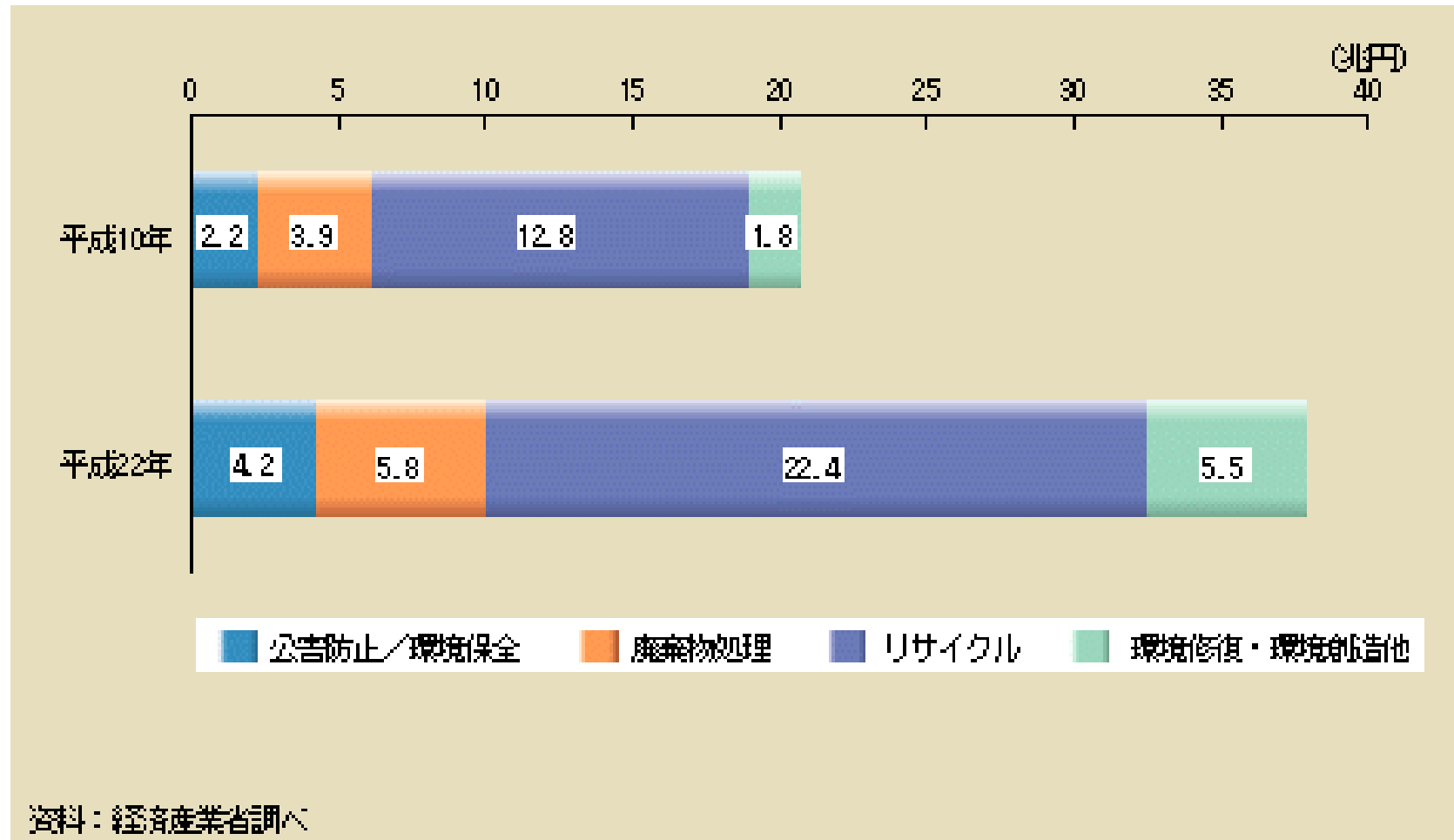
5-7 高齢者生活支援ビジネス(その5)

ケアマネージャーを対象とした勉強会を開催し、業績を拡大した企業



5-8 環境ビジネス(その1)

環境ビジネスの市場規模予測



5-10 環境ビジネス(その3)

環境ビジネスを取り巻く状況

